

NVR用
操作手順書①
初回起動設定/ログイン・ログアウト
(1.00版)

2026 年 09 月 15 日



WDJ Hi-Tech Inc.

株式会社 WDJ ハイテク

(1.00 版)

Copyright © 2026 WDJ Hi-Tech Inc. All Rights Reserved.

文書番号:WDJ-Tec-MAN-049



— 変更履歴 —

版数	変更日	区分	変更箇所		変更内容
			頁	項番	
1.00	2026/09/15	新規			新規作成

1. 本手順書に関して	3
1.1. 本手順書について	3
2. 画面操作の基本	4
2.1. マウス操作	4
2.2. ソフトウェアキーボード操作	4
3. 外観	5
3.1. 前面	5
3.2. 背面	5
4. HDD 取り付け	6
4.1. カバー取り外し	6
4.2. HDD 取り付け	7
4.3. カバー取り付け	9
5. 初回起動設定	11
5.1. レコーダーの起動/初回起動設定	11
5.2. パスワード設定	12
5.3. スタートアップウィザード	16
6. ログイン	23
6.1. 解除パターンでのログイン	23
6.2. パスワード入力でのログイン	24
7. ログアウト	25
8. メインメニュー画面	26
8.1. メインメニュー	26
9. ライブ画面	27
9.1. ライブ画面アイコン	27
9.2. アイコン詳細	28

1. 本手順書に関して

1.1. 本手順書について

- ・ 本書は WG-NVR162-S（以下、レコーダー）を、簡単に設定して頂くための手順です
- ・ 本手順書は工場出荷状態のレコーダーからのスタートアップウィザード機能を使っての基本的な設定の説明を行います。

1.1.1. 本手順書の注意点

ご使用のファームウェアによっては、本書と一部異なる画面及び文言になる場合があります。

2. 画面操作の基本

本レコーダーは、キーボードを使用せずに、マウスだけで操作を行います。
キーボード操作が必要な場合には ソフトウェアキーボードを使用します。
本章ではマウスの基本操作とソフトウェアキーボードの使用方法に関して簡単に説明します。

2.1. マウス操作

- ・基本の操作は下記の通りです。

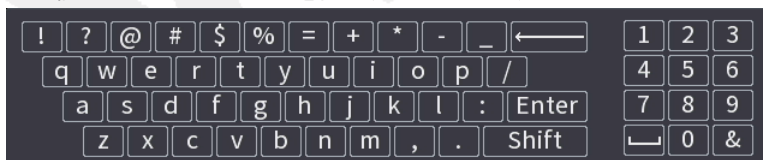
左クリック	選択、決定
右クリック	キャンセル

2.2. ソフトウェアキーボード操作

- 1) パスワードなど文字入力が必要な場合



入力欄にマウスポインターを置き、左クリックするとソフトウェアキーボードが表示されます。



 は“スペース”、 は、“1 文字消去” です。

『Shift』をクリックすると、大文字入力用に変更できます。



- 2) マウスで文字及び数字を左クリックし文字列を入力し、最後に 『Enter』 をクリックし、入力を確定させます。

- 3) 時間や年など数字のみの入力が必要な場合は



入力欄にマウスポインターを置くと
テンキーだけのソフトウェアキーボードが表示されます。



- 4) テンキーソフトウェアキーボードは Enter キーがないので
入力終了後、入力欄にマウスポインターを置き、左クリックで入力を確定させます。

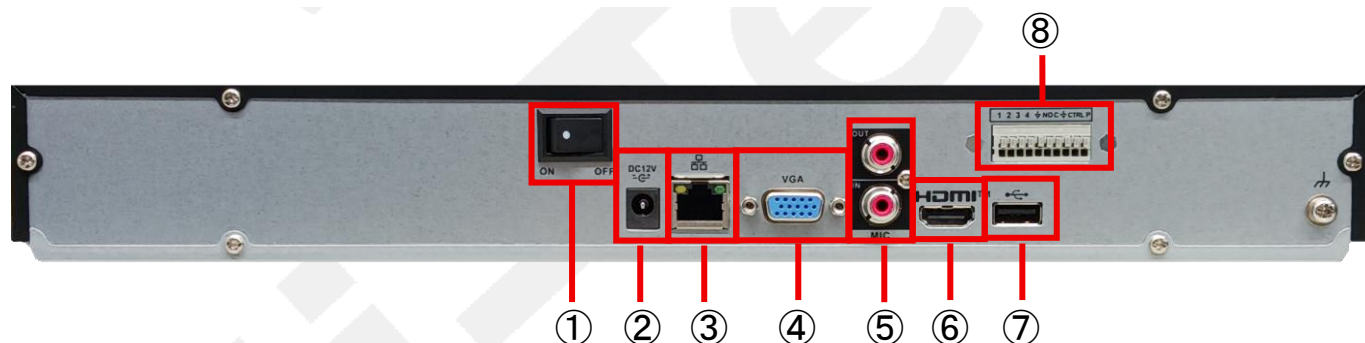
3. 外観

3.1. 前面



	パネル		概要
①	LED	LAN 状態	ネットワークの状態に問題が発生すると LED が点灯します。
		電源状態	電源が入ると LED が点灯します。
		HDD 状態	HDD の状態に問題が発生すると LED が点灯します。
②	USB ポート		マウスや USB メモリーなどの USB 機器を接続します。

3.2. 背面



	パネル		概要
①	電源スイッチ		電源の ON/OFF を行います。
②	電源コネクタ		付属の電源アダプターを接続します。
③	LAN ポート		LAN 線を接続し、ネットワーク環境に接続します。
④	VGA ポート		VGA 信号に対応したモニターに接続します。
⑤	MIC ポート	IN	双方向通話用の入力ポート。RCA コネクタに対応したマイクに接続します。
		OUT	双方向通話/映像音声用の出力ポート。 RCA コネクタに対応したスピーカーに接続します。※出力はモノラルです。
⑥	HDMI ポート		HDMI のビデオ信号に対応したモニターに接続します。
⑦	USB ポート		マウスや USB メモリーなどの USB 機器を接続します。
⑧	アラームポート	1~4	アラーム入力ポート。ON/OFF の接点がある機器に接続します。
			アラーム入力のアース（接地）ポート。
		NO / C	アラーム出力ポート（アラーム出力番号 1）。 イベント発生時に動作する警報機器などに接続します。 ※NO：ノーマルオープンアラーム出力ポート。C：アラーム出力端。
		CTRL	12V の電源出力のアラーム出力ポート（アラーム出力番号 2）。 イベント発生時に動作する警報機器などに接続します。 ※アラーム出力が OFF 時に電源を出力し、ON 時に電源を停止します。
		P	12V/1A の電源出力ポート。電源を必要とする周辺機器などに接続します。

4. HDD 取り付け

4.1. カバー取り外し

1) 背面の 4 か所のネジを外します。



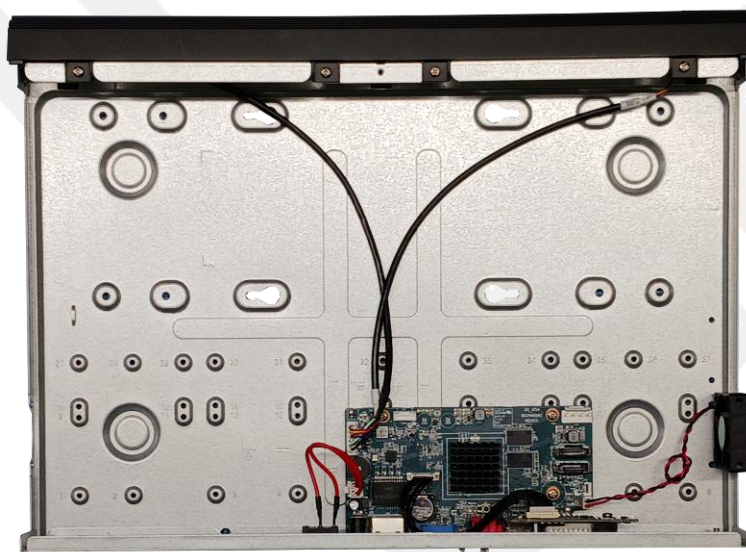
〈注意〉

カバーのネジはとても小さいので、無くさないために入れ物や袋に入れて保管することを推奨します。

2) カバーを後方にスライドし (①)、両端を持ちカバーを上を持ち上げます (②)。



3) カバーの取り外しの終了です。

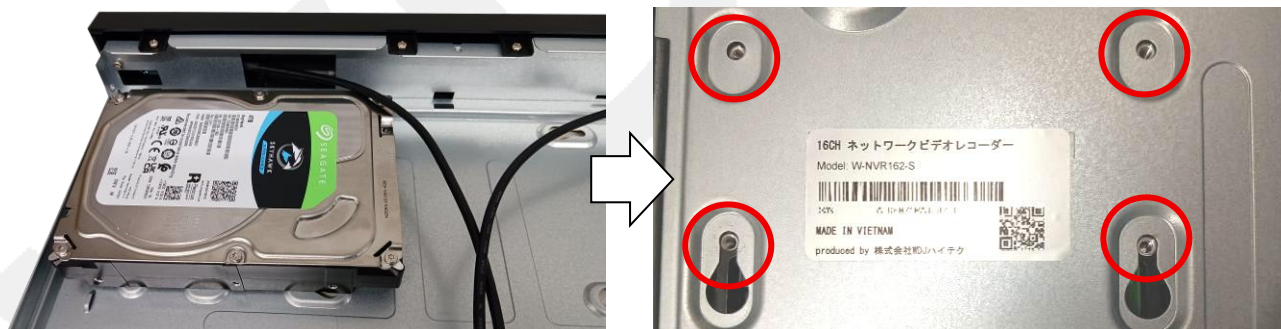


4.2. HDD 取り付け

1) 取り付ける HDD と付属品の中から、HDD 電源ケーブル/通信ケーブル、取り付けネジを用意します。



2) HDD をレコーダーに取り付け位置に置き、HDD を抑えながらレコーダーを裏向け、HDD のネジ穴を合わせます。



※HDD の取り付け位置は、左右どちらでも問題ありませんが、HDD を 1 つのみ取り付ける場合は、レコーダーの背面から見て左（画像の位置）に取り付けることを推奨します。

3) HDD を取り付けネジで 4 か所止めます。



※HDD を 2 つ取り付ける場合は、2)～4) の手順で、もう 1 つの HDD を取り付けてください。尚、HDD を 2 つ取り付ける場合、付属のケーブルの長さから同じ向きに取り付けることを推奨します。



4) HDD の取り付けが終了したら、レコーダーを表向け、HDD に通信ケーブルと電源ケーブルを接続します。



〈注意〉

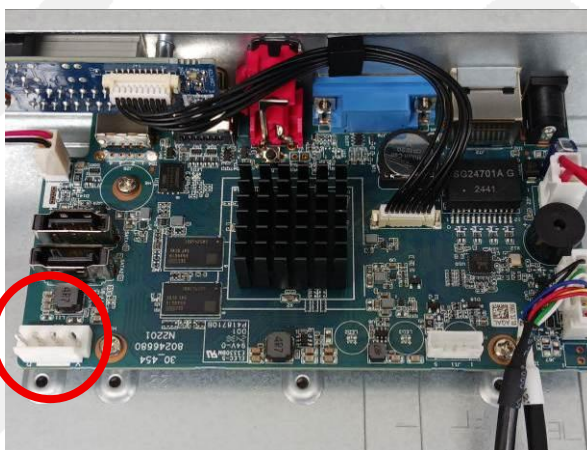
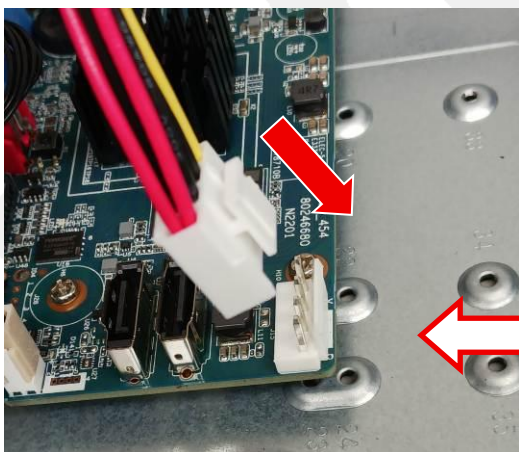
コネクター部分はL字になっていますので、ケーブルの取り付けの向きに注意して下さい。



電源ケーブル

通信ケーブル

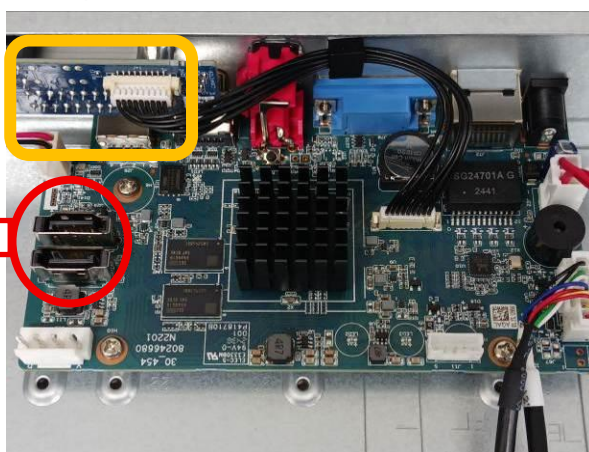
5) 電源ケーブルをレコーダーの基盤に接続します。



〈注意〉

- ①コネクターの挿入する方向があります。ケーブル側のコネクターのフックがHDD 側の向きで挿入して下さい。
- ②カッチと音がするまで挿入し、抜けないことを確認して下さい。

6) 通信ケーブルをレコーダーの基盤に接続します。

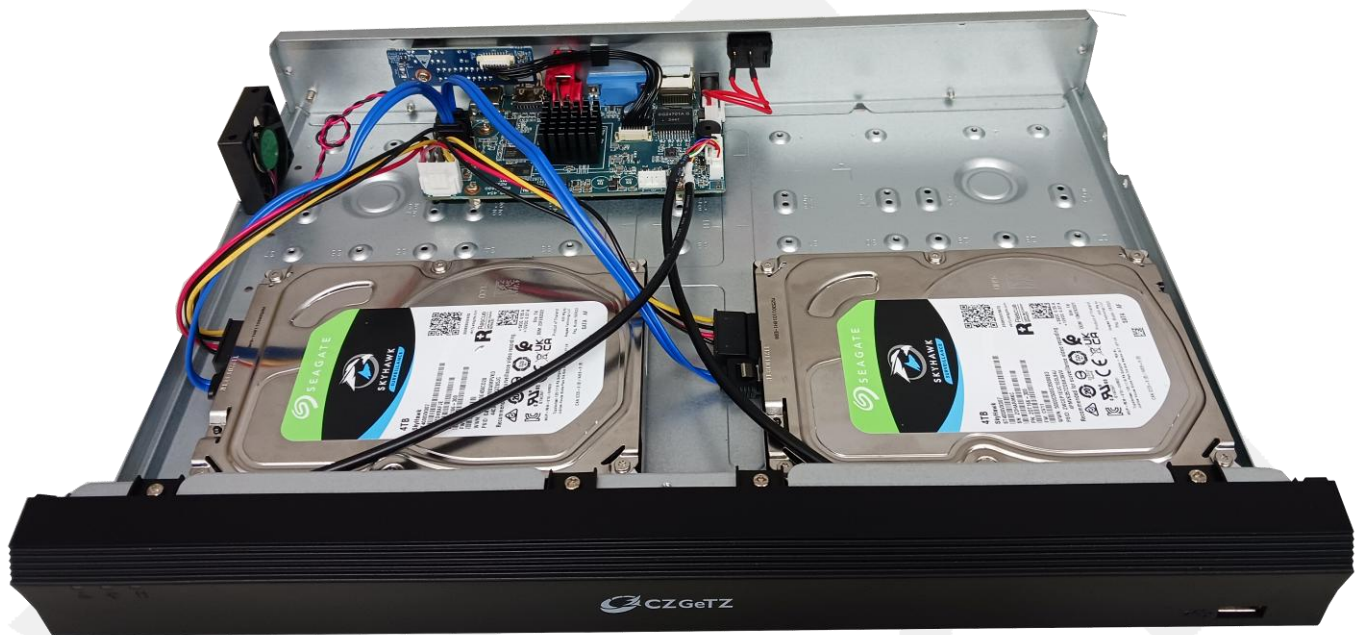


〈注意〉

- ①画像の上が「SATA1」、下が「SATA2」となりますが、HDD が1つの場合はどちらに接続しても問題ありません。
- ②コネクターの挿入する方向があります。「SATA1」に接続する場合は、コネクターのフックは外側、「SATA2」に接続する場合は、内側（HDD 側）の向きで挿入して下さい。
- ③コネクターはカッチと音がするまで挿入し、抜けないことを確認して下さい。
- ④レコーダーの背面部分の基盤が針状になっている箇所がありますので、通信ケーブルの抜き差しを行う場合は十分にご注意下さい。

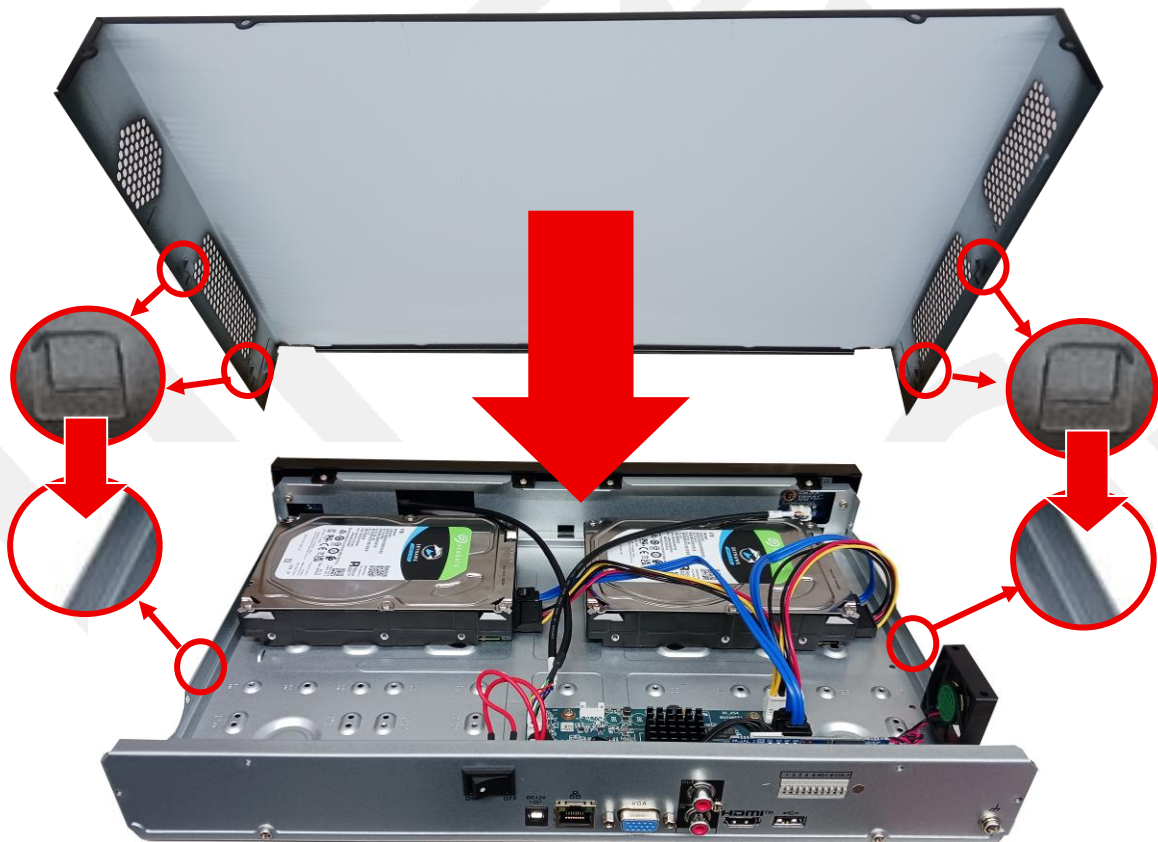
7) HDD 取り付け完了

※下記は HDD を 2 つ取り付けた画像です。



4.3. カバー取り付け

- 1) カバーの内側にある 4 か所のフックがレコーダーの側面に嵌まるように被せます。



〈注意〉

カバーを取り付ける際に、HDD の電源ケーブルや通信ケーブル、その他レコーダーに接続しているケーブル類がカバーと本体に挟まれないように注意して下さい。

2) カバーを前にスライドさせます。



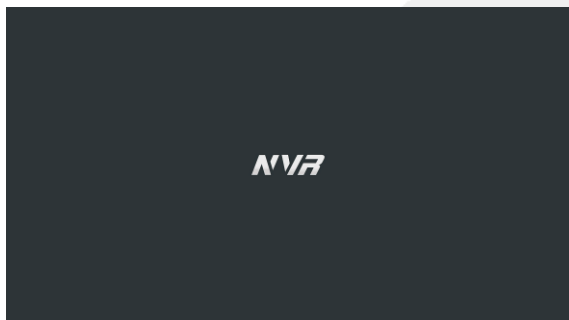
3) 背面の4か所のネジを取り付けます。



5. 初回起動設定

5.1. レコーダーの起動/初回起動設定

- 1) レコーダーの電源をオンにして、レコーダーを起動して下さい。
オープニング画面が表示されます。



＜オープニング画面が表示されない、初回起動画面が表示されない場合の対応＞

- ① モニターの電源が入っているか、またモニターの入力切り替えが HDMI や VGA になっているか確認して下さい。
 - ② レコーダーの電源を切り、電源アダプターまたはパワーケーブルをレコーダーならびにコンセントに挿し直して、再度電源を入れて下さい。
 - ③ レコーダーの電源スイッチが ON になっているか確認して下さい。
 - ④ モニターに接続している HDMI または VGA ケーブルを外し、レコーダーとモニターに挿し直して下さい。
 - ⑤ 出力するモニターが 1280x1024 の解像度に対応しているか確認して下さい。
- 上記でも解決しない場合は、購入先にお問い合わせ下さい。

＜オープニング画面が繰り返される場合の対応＞

電源タップを使用している場合は、電源タップを使用せず、直接壁面のコンセントに差すか、電源タップをレコーダーの電源のみにして下さい。解決しない場合は、購入先にお問い合わせ下さい。

- 2) 起動すると国と時刻の画面が表示されるので、
 - ・「地域」→ “日本”
 - ・「言語」→ “日本語”
 - ・「ビデオ規格」→ “NTSC”
 - ・「時間帯」→ “(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京”になっていることを確認し、「システム時刻」を今現在の時間に合わせ、「次へ」をクリックして下さい。



＜ブザーが鳴り続ける場合＞

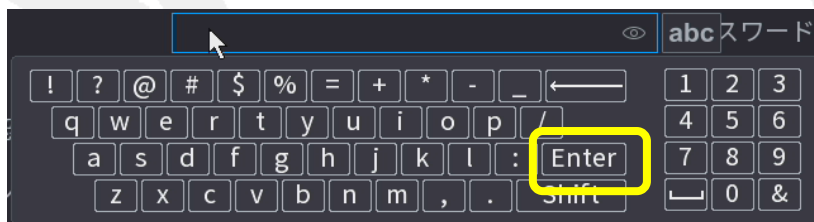
HDD が接続されていない場合、または HDD のフォーマットエラーの場合、ブザーが鳴ります。そのまま初回起動設定の手順を進め、チャンネル設定で HDD の確認をして下さい。

5.2. パスワード設定

5.2.1. パスワード入力

- 1) 管理者(「admin」)パスワードの入力を行う画面が表示されます。

- 2) パスワード入力欄でマウスをクリックし、ソフトウェアキーボードで“パスワード”を入力し、『Enter』で確定させます。



※パスワードは8文字～32文字です。**大文字 / 小文字 / 数字 / 記号の組み合わせで12文字以上を推奨します。**

- 3) 2)と同様のマウス操作で”パスワード”と同じパスワードを”パスワード確認”欄に入力します。
また、パスワードアシストはパスワードを忘れないためのヒントを入力します。ログイン時のパスワード入力時に表示されます。空欄でも可能です。

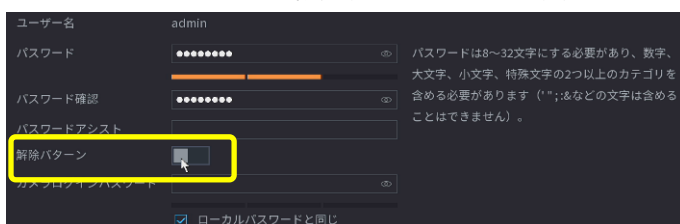
※“パスワードアシスト”の設定によるパスワード忘れの対策を推奨します。
パスワードアシスト入力の際、マスクされません。また、ログイン時のパスワード入力時に表示されますので、パスワードをそのまま入力することは止めて下さい。

- 4) ログイン時の解除パターンを設定します。解除パターンを使用する場合は、有効(右ヘスライド: 青色に変更)  ① にします。



※解除パターンを使用せず、ソフトウェアキーボードのみでログインする場合は、解除パターンを OFF (左ヘスライド:

灰色に変更)  にして下さい。この設定は、初回起動設定終了後でも、メインメニュー→アカウント→ユーザーの admin ユーザーの修正で設定することも可能です。



- 5) カメラログインパスワードの設定をします。このパスワードの設定は、レコーダーで IP カメラを登録する際にデフォルトで設定されるパスワードです。

＜IP カメラのパスワードがレコーダーと同じ場合＞

「ローカルパスワードと同じ」①にチェックを入れ、『次へ』③をクリックして下さい。

＜IP カメラのパスワードがレコーダーと異なる場合＞

「ローカルパスワードと同じ」①のチェックを外し、「カメラログインパスワード」にカメラのパスワード②を入力します。入力が終了したら『次へ』③をクリックします。



※ IP カメラのパスワードとカメラログインパスワードと異なる場合は、IP カメラを登録時にパスワードを入力する事で登録できます。

※ カメラログインパスワードと同じパスワードの IP カメラを登録する際は、パスワードの入力を省略することができます。そのため、IP カメラのパスワードが複数ある場合、一番多くのカメラが使用しているパスワードを設定することを推奨します。

※ カメラのログインパスワードは、初回起動設定の「3. 4. 5. IPC 設定」で変更することも、初回起動設定後、メインメニュー→カメラ→IPC の「カメラログインパスワードを変更する」でパスワードを変更することも可能です。

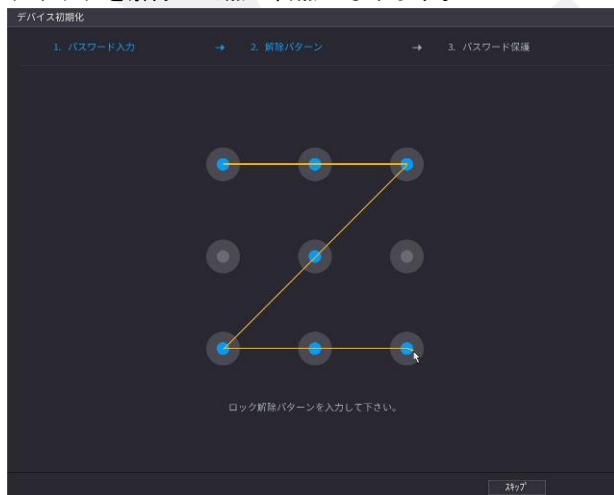
5.2.2. 解除パターン

パスワード入力の設定で、解除パターンの設定を無効にした場合は、解除パターンの設定画面は表示されませんので、「3.2.3 パスワード保護」に進んで下さい。

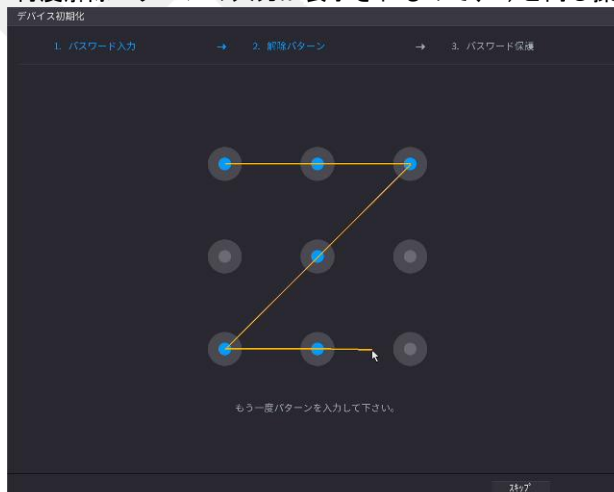
- 1) デフォルトは解除パターンのログイン方法が表示されます。
※ 解除パターンを設定しても、ログイン時にソフトウェアキーボードの入力へ切り替える事も可能です。



- 2) 始点をクリックし、クリックした状態にて一筆書きにて点を結んで解除パターンを設定します。クリックを解除した点が終点となります。



- 3) 再度解除パターンの入力が表示されるので、2)と同じ操作で同じ解除パターンを入力して下さい。



5.2.3. パスワード保護

- 1) 「2. 画面操作の基本」の操作に従い、E-mail アドレスと秘密の質問を入力します。

※ 「admin」のパスワードを忘れた際に、パスワードリセットを行うため、必ず下記2項目の設定を徹底して下さい。

① E-mail アドレス登録

② “セキュリティ質問/秘密の質問”の答え登録

この設定を行わないと、「admin」のパスワードを忘れた際に、パスワードリセットが出来ず、機器にログイン出来なくなります。

- ① “E-mail アドレス”を入力します。

「admin」のパスワードを忘れた場合、表示されたQRコードを読み取り送信することで、このアドレスにセキュリティコードが通知されます。このセキュリティコードを入力することで、パスワードの再設定が可能になります。

- ② “セキュリティ質問”の答えを3問全てを入力します。

「admin」のパスワードを忘れた場合に、回答できるとパスワードの再設定が可能になります。

E-mail アドレス、ならびにセキュリティ質問を ON (右ヘスライド：青色に変更) にし、E-mail アドレス、質問の答えは必ず保管して下さい。

デバイス初期化

1. パスワード入力 → 2. 解除パターン → 3. パスワード保護

Email (7*) は ☒ sample@gmail.com パスワードのリセットに使われています。早めに情報を補完することをお勧めします。

セキュリティ質問 ☒

質問1 あなたの好きな子供の本は何ですか?

質問2 あなたの最初の上司の名前は何ですか?

質問3 あなたの好きな果物の名前は何ですか?

次へ

- 2) E-mail アドレス、セキュリティ質問の入力が終了したら、『次へ』をクリックして下さい。

デバイス初期化

1. パスワード入力 → 2. 解除パターン → 3. パスワード保護

Email (7*) は ☒ sample@gmail.com パスワードのリセットに使われています。早めに情報を補完することをお勧めします。

セキュリティ質問 ☒

質問1 あなたの好きな子供の本は何ですか?

質問2 あなたの最初の上司の名前は何ですか?

質問3 あなたの好きな果物の名前は何ですか?

次へ

5.3. スタートアップウィザード

5.3.1. TCP/IP（ネットワーク）設定

- 1) ログインすると、ネットワークの設定画面が表示されるので、をクリックし、TCP/IP の画面を表示します。

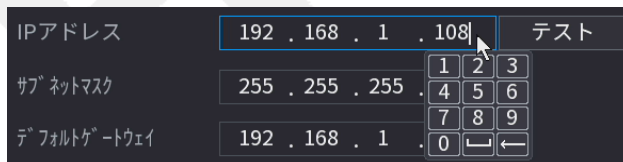


- 2) 各々の設置場所に必要な IP アドレスの設定 (①) をし、設定が終了したら、『OK』 (②) をクリックして下さい。



②の設定方法：設定したい入力欄にマウスのポインターをあてクリックして下さい。

ソフトウェアキーボードが表示されます。マウスのカーソルを、ソフトウェアキーボードの数字キーに動かし、数字キーをクリックして、IP アドレスなどを設定します。



※ネットワークの設定は、ご使用になるネットワーク環境に合わせて設定して下さい。設定値については、設置場所のネットワークの担当者にお問い合わせ下さい

- 3) 設定が終了したら、『次へ』をクリックして下さい。

スタートアップウィザード

1. ネットワーク → 2. P2P → 3. IPカメラ → 4. チャンネル

インターフェイス	IPアドレス	ネットワーク	NICメンバー	修正	解放
NIC1	192.168.1.108	シングルNIC	1		

デフォルトのIPアドレスを変更すると、IPの衝突が発生し、デバイスが正常に動作しなくなる。

IPアドレス: 192.168.1.108 デフォルトゲートウェイ: 192.168.1.1 MTU: 1500
MACアドレス: 74:25:84:e0:00:01 サブネットマスク: 255.255.255.0 モード: 静的

IPバージョン:

優先DNS:
セカンダリDNS:

初期設定カード:

5.3.2. P2P 設定

P2P を無効にする場合は、『次へ』をクリックして下さい。

スタートアップウィザード

1. ネットワーク → 2. P2P → 3. IPカメラ → 4. チャンネル

有効 ☐

お使いのデバイスのリモート管理を行うために、P2Pが有効化されます。P2Pを有効にしてインターネットに接続した後で、IPアドレス、MACアドレス、デバイス名、デバイスシリアル番号などを収集する必要があります。収集された情報はすべて、リモートアクセスの目的にのみ使用されます。P2Pを有効にしない場合は、無効にしてください。

次へ

機器SN


[QRコードを読み取る]

※P2P を有効にする場合、「有効」を ON（右ヘスライド：青色に変更）にして、『次へ』をクリックして下さい。

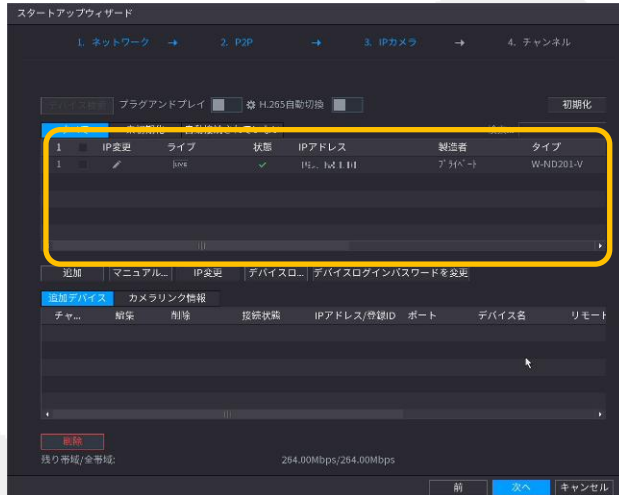
5.3.3. IPC 設定

レコーダーに IP カメラの登録を行います。

登録方法には、「1. デバイス検索による登録」、「2. マニュアル追加」の方法があります。

ここでは、「1. デバイス検索による登録」に関して、説明します。

- 1) 同一ネットワーク上に接続されているカメラの一覧が表示されます。



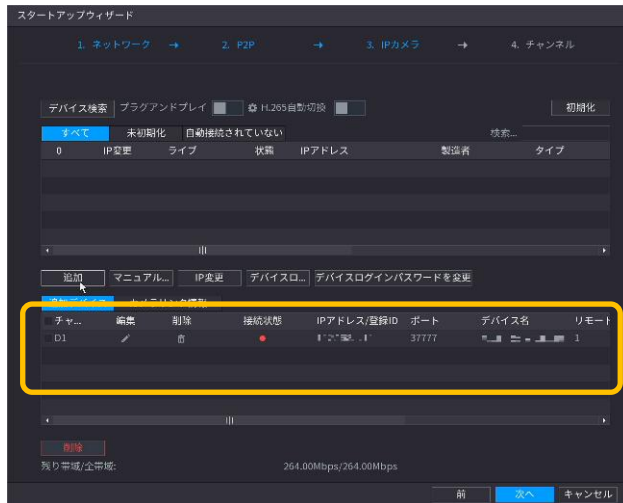
※一覧が表示されていない場合は、画面の左上にある『デバイス検索』をクリックして下さい。



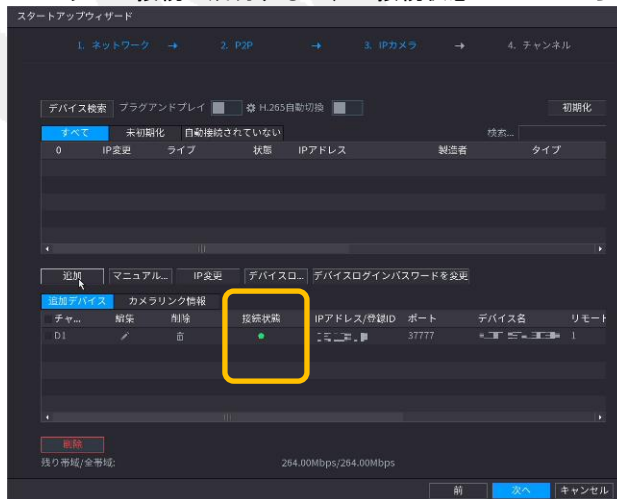
- 2) 登録したいカメラのチェックボックス (①) にチェックを入れ、『追加』 (②) をクリックして下さい。



- 3) 完了すると、“追加デバイス”の一覧にチェックしたカメラが表示されレコーダーとカメラの接続を開始します。



- 4) カメラとの接続が成功すると、“接続状態”がからに変更されます。



※に変更されない場合は、“編集”のをクリックして、変更画面でユーザー名とパスワードを再入力し、接続を確認して下さい。

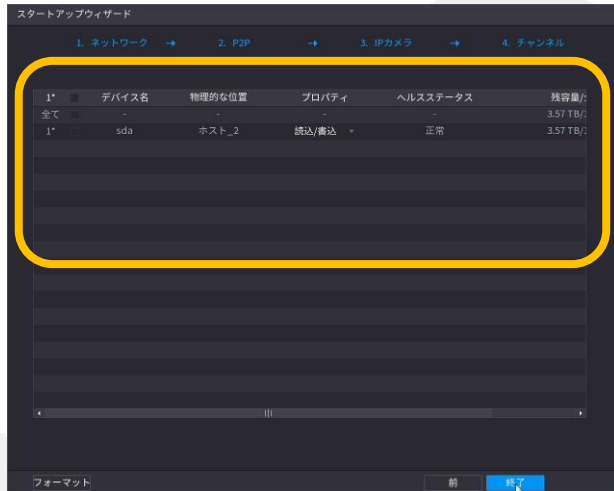
※デフォルトのカメラのログインパスワードを変更する場合は、『デバイスのログインパスワードを変更する』をクリックし、ログインパスワードを変更して下さい。尚、「3.3.1 パスワード入力」でレコーダーのパスワードの設定で、「カメラのログインパスワード」を設定していない場合、デフォルトのパスワードはレコーダーと同じです。

5.3.4. HDD（チャンネル）設定

レコーダーに搭載のHDDのフォーマットを行います。

※新しいHDDを取り付けた後は、必ずフォーマットを行ってください。

- 1) 接続しているHDDの一覧が表示されます。



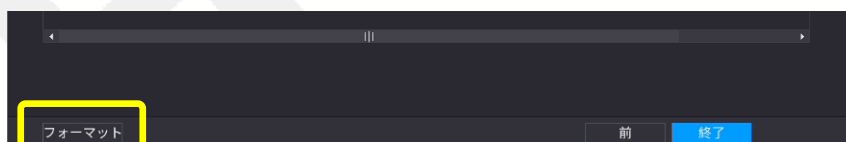
＜HDDが表示されていない場合の対応＞

- ・ HDDを搭載していない場合
『終了』をクリックし、初回設定終了後に「メインメニュー」-「アラーム」-「異常処理」-「HDD」でHDDなしのイベントを無効にしてください。
- ・ HDDを搭載している場合
『終了』をクリックし、初回設定を終了させ、購入先にお問い合わせ下さい。

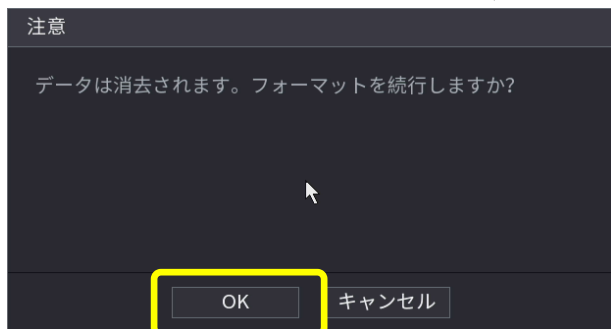
- 2) リストの一番上にあるチェックボックスに☒を入れます。
※☒を入れると、表示している全てのHDDのチェックボックスに☒が入ります。



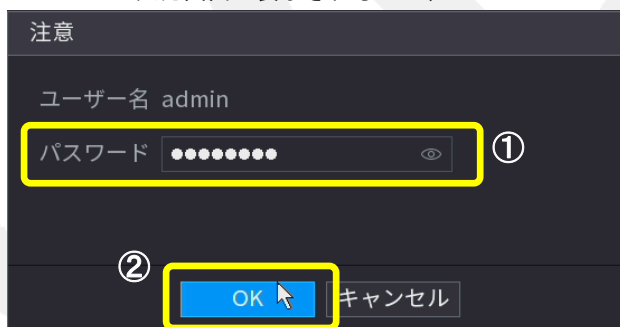
- 3) 左下にある『フォーマット』をクリックして下さい。



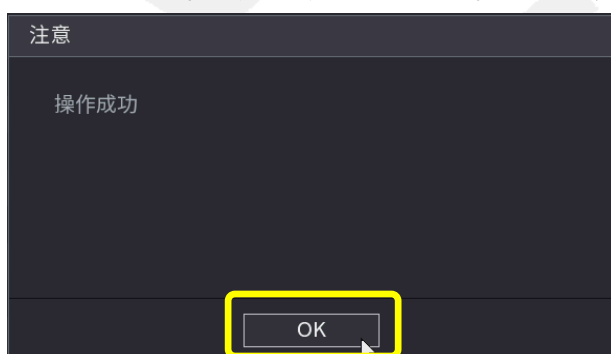
- 4) HDD のデータが全て消去されるメッセージが表示されるので、『OK』をクリックして下さい。



- 5) パスワード入力画面が表示されるので、admin のパスワードを入力 (①) し、『OK』 (②) をクリックして下さい。



- 6) フォーマットが終了すると、フォーマット終了画面が表示されるので『OK』をクリックして下さい。

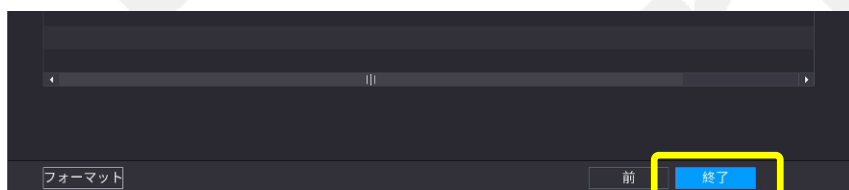


1*	デバイス名	物理的な位置	プロパティ	ヘルスステータス	残容量/総容量
全て	-	-	-	-	3.57 TB/3.57 TB
1*	sda	ホスト_2	読込/書込	正常	3.57 TB/3.57 TB

＜ヘルスステータスが“正常”でない場合＞

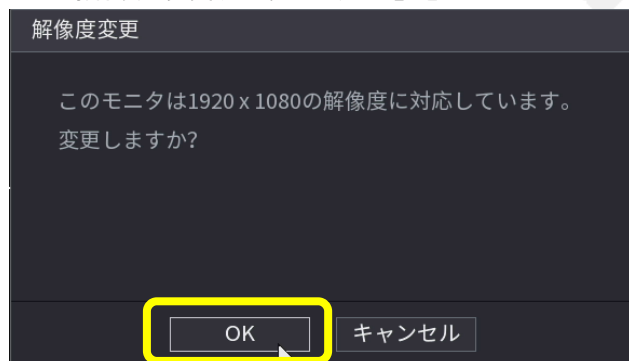
再度 1) の手順から、HDD のフォーマットを行い、改善されない場合は、『終了』をクリックし、初回起動設定を終了させた後、購入先にお問い合わせ下さい。

- 7) フォーマット終了画面が消去するので、右下にある『終了』をクリックして下さい。



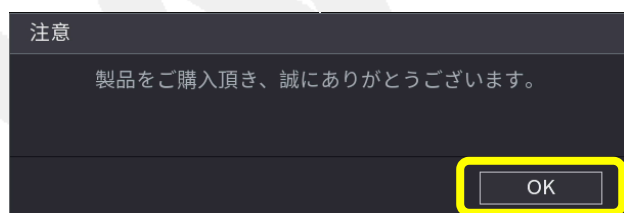
5.3.5. 解像度変更確認

再起動後、出力モニターがフル HD（1920x1080）の解像度に対応している場合、変更メッセージが表示されます。出力をフル HD の解像度に変更する場合は、『OK』をクリックして下さい。



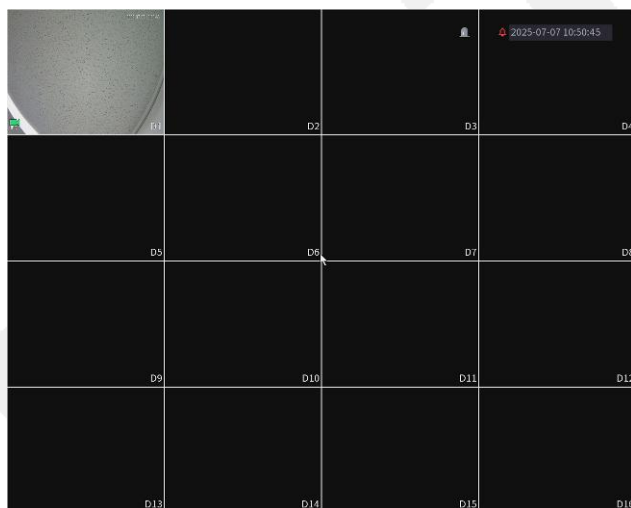
5.3.6. スタートアップウィザードの終了

“製品をご購入頂き、誠にありがとうございます。”のメッセージが表示されますので、『OK』をクリックして下さい。



5.3.7. 映像確認

ライブ映像画面に、登録したカメラ映像が出力されている事を確認して下さい。

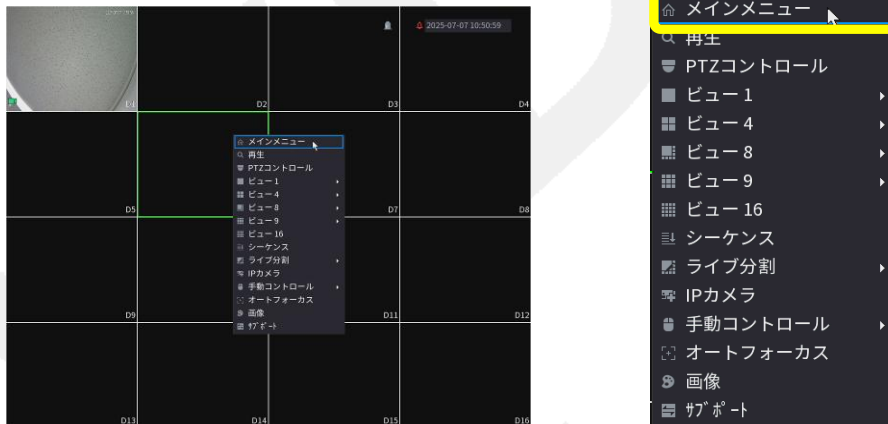


6. ログイン

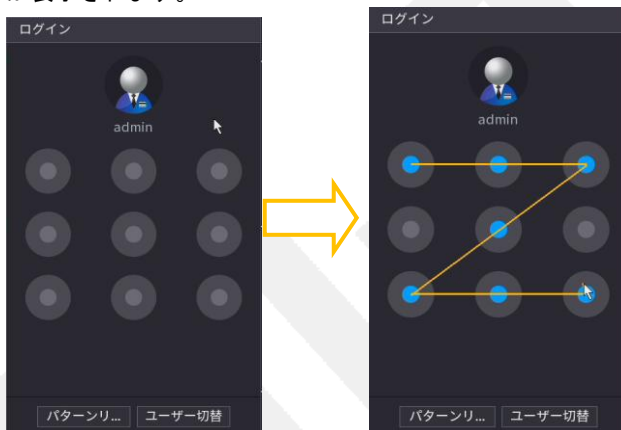
本章ではシステムにログインする為の手順を説明します。
システム設定を操作するには、ログインが必要です。

6.1. 解除パターンでのログイン

- 1) システムにログインするには画面上にマウスのポインターを置き、右クリックし、リストから『メインメニュー』をクリックします。



- 2) 解除パターンの画面が表示されますので、始点をクリックし、クリックした状態にて1筆書きにて点を結んで、設定している解除パターンを描画して下さい。クリックを解除した時点で、正しいパターンが描画されていれば、メインメニューが表示されます。



注：パターン描画を規定回数以上間違えると、そのユーザーはロックされ30分間システムログインできなくなります。

＜アカウントロック時の対応＞

以下の①②のどちらかを実行して下さい。

- ① 30分間待って、再度パスワードを入力
- ② レコーダーの本体を再起動（本体の背面にある電源をON/OFF。または電源コンセントを抜き差し）

- 3) ログインに成功するとメインメニューが表示されます。

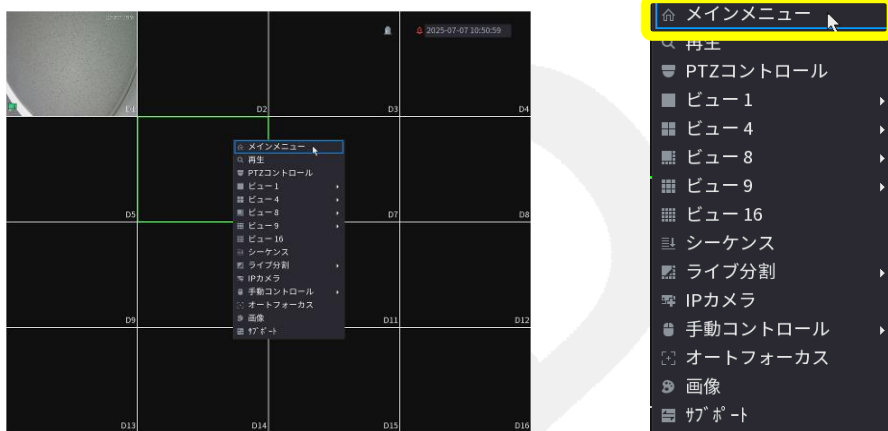
6.1.1. パスワード入力でのログイン、またはユーザー切り替え

解除パターンは admin のユーザーのみのログイン方法です。admin 以外のユーザーでログインする場合、または admin ユーザーがパスワードを入力してログインする場合は、解除パターンの画面の下部にある『パターンリセット』または『ユーザー切替』をクリックし、ログイン画面を変更して下さい。

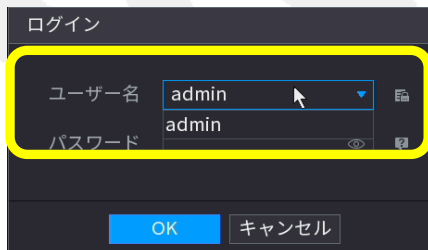


6.2. パスワード入力でのログイン

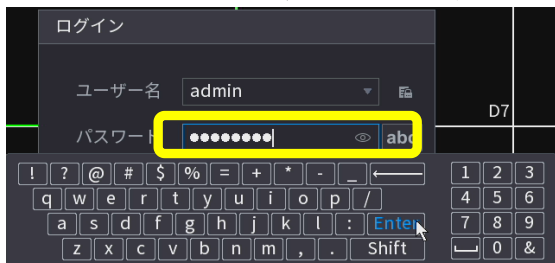
- 1) システムにログインするには画面上にマウスのポインターを置き、右クリックし、リストから『メインメニュー』をクリックします。



- 2) 『システムログイン』のポップアップメニューが表示されますので、『ユーザー名』のプルダウンメニューから 管理者権限が設定されたユーザー名を選択します。(初期登録されている『admin』は管理者権限が設定されたユーザー名です。)



- 3) 『パスワード』入力欄にマウスのポインターをあてクリックします。
ソフトウェアキーボードが表示されるので、マウスを使って『パスワード』を入力します。

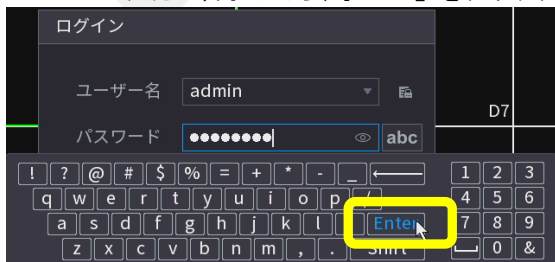


注：パスワード入力を規定回数以上間違えると、そのユーザーはロックされ 30 分間システムログインできなくなります。
<アカウントロック時の対応>

以下の①②のどちらかを実行して下さい。

- ① 30 分間待って、再度パスワードを入力
- ② レコーダーの本体を再起動（本体の背面にある電源を ON/OFF。または電源コンセントを抜き差し）

- 4) パスワードの入力が終了したら、『Enter』をクリックして下さい。



- 5) ログインに成功するとメインメニューが表示されます。

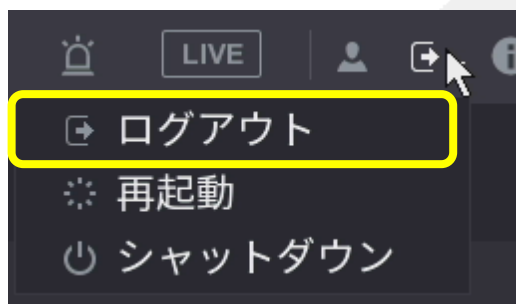
7. ログアウト

セキュリティの観点から、レコーダーの使用の後は、必ずログアウトされる事を推奨します。

- 1) メインメニューを呼び出し、右上にある  のアイコンをクリックします。



- 2) シャットダウンメニューが表示されますので、『ログアウト』をクリックするとログアウトします。



注：設定時間以上、画面操作を実施しなければ、自動的にログアウトします。操作が必要な場合は、再度システムログインを行って下さい。

【補足】 シャットダウンメニューからは、ログアウト動作以外に、再起動動作(①)とシャットダウン動作(②)が可能です。但し、再起動とシャットダウンは、クリックすると即時動作に入りますのでご注意ください。



8. メインメニュー画面

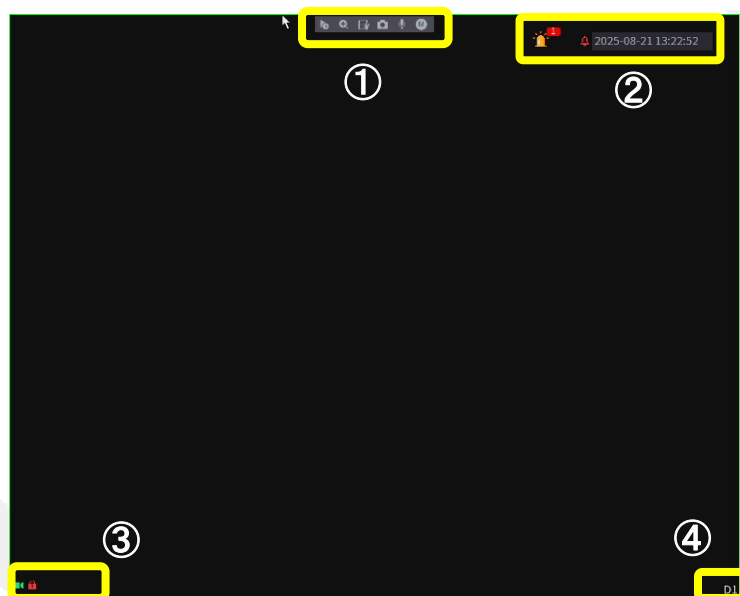
8.1. メインメニュー



	アイコン	機能
①		アラーム情報 異常イベント、アラームイベント、AI イベントの発生情報を表示します。
		ライブ 表示している画面を消去し、ライブ映像へ切り替えます。
		アカウント ログイン中のアカウント表示を行います。
		シャットダウン 「ログアウト」、「再起動」、「シャットダウン」を行います。
		デバイス情報 製品名、シリアル、ファームウェアのバージョンなどの表示、ならびにファームウェアのアップデートを行います。
		QR コード クリックするとデバイスのシリアルの QR コードが表示されます。
②		再生 HDD または USB に保存している録画映像の再生を行います。
		検索 Ai 動体検知や AI 境界検知の設定、検索再生を行います。
		メンテナンス ログの表示、デバイス情報の表示、初期化/工場出荷状態に戻す、ファームウェアのアップデートなどを行います。
		バックアップ 存している録画映像やスナップショットのバックアップを行います。
③		リモートデバイス カメラの登録、画像調整、エンコード変更、オーバーレイ設定など行います。
		ネットワーク TCP/IP、メール設定、P2P 設定などのネットワーク設定を行います。
		ストレージ スケジュール、HDD のフォーマットなどのストレージの設定を行います。
		イベント AI 動体検知、AI 境界検知、アラーム、ビデオ検知の設定を行います。
		アカウント アカウントの登録、削除、変更など行います。

9. ライブ画面

9.1. ライブ画面アイコン



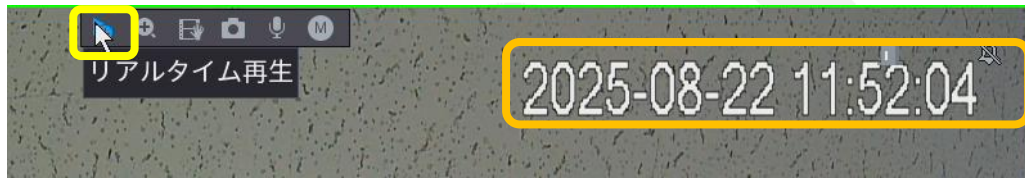
	アイコン	機能
①		リアルタイム再生
		デジタルズーム
		インスタントレコード
		手動スナップ
		通話
		ストリームの切替
②		アラーム情報
		ツアー
		アラーム連動
		時刻
③		録画
		カメラ出力のロック
		動体検知
④		チャンネル番号

※①のアイコンは、マウスを映像の上部に移動させると表示します。

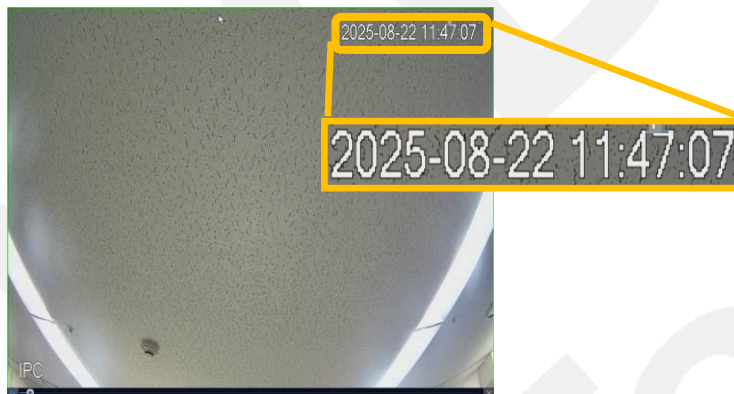
9.2. アイコン詳細

9.2.1. リアルタイム再生

- 1) をクリックします。



- 2) 再生画面に変わり、リアルタイム再生で設定している時間前（デフォルトは5分前）の録画映像が再生されます。

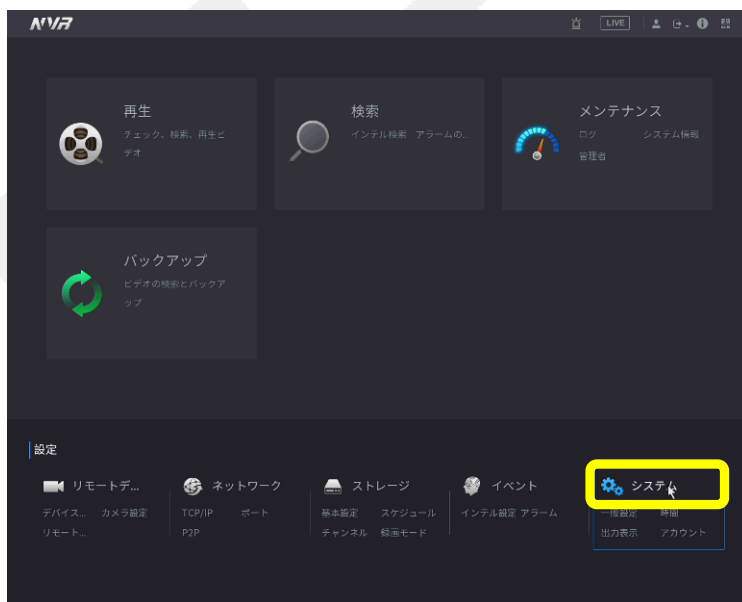


※再生画面の右下のをクリックするか、右クリックでライブ映像に戻ります。

※HDD を実装し、録画をしていない場合は、再生されません。

9.2.1.1. リアルタイム再生時間の設定

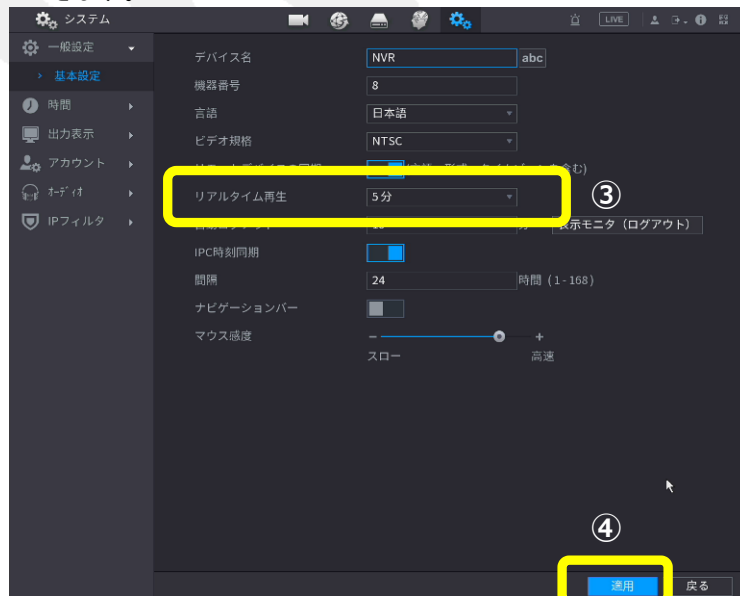
- 1) メインメニューの『システム』をクリックし、システムの設定画面を表示させます。



- 2) 『一般設定』(①)をクリックし、表示したリストの『基本設定』(②)をクリックして下さい。

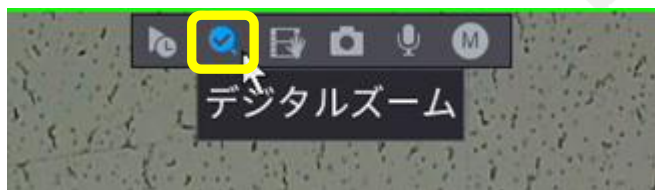


- 3) リアルタイム再生の時間(③)をリストから選択し、『OK』(④)をクリックすれば、リアルタイム再生の時間を変更できます。

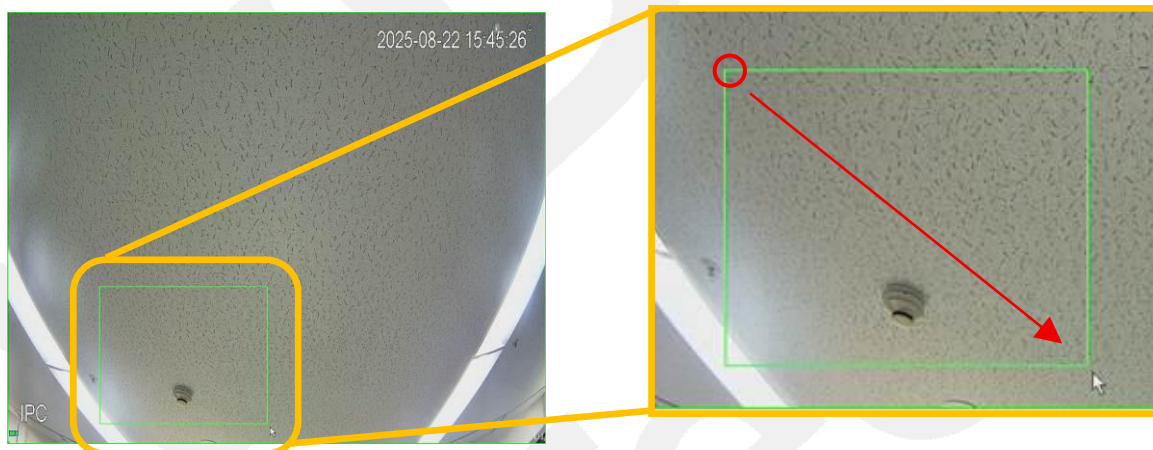


9.2.2. デジタルズーム

- 1)  をクリックし、 (青色) の状態にします。



- 2) 映像内をマウスでクリックしながら移動させると、緑色の枠が描画されるので、拡大したい場所を枠で囲います。



- 3) マウスのクリックを止めると枠内の部分が拡大表示されます。



※クリックしながらマウスのアイコンを移動させると、拡大表示している位置の移動が可能です
※右クリックでライブ映像に戻ります。
※デジタルズーム可能な状態は、をクリックし、 (灰色) にするまで、デジタルズーム状態です。
※マウスのホイールを回転させるだけでもデジタルズームをすることが可能です。

9.2.3. インスタントレコード

ライブ映像を USB 機器に録画します。

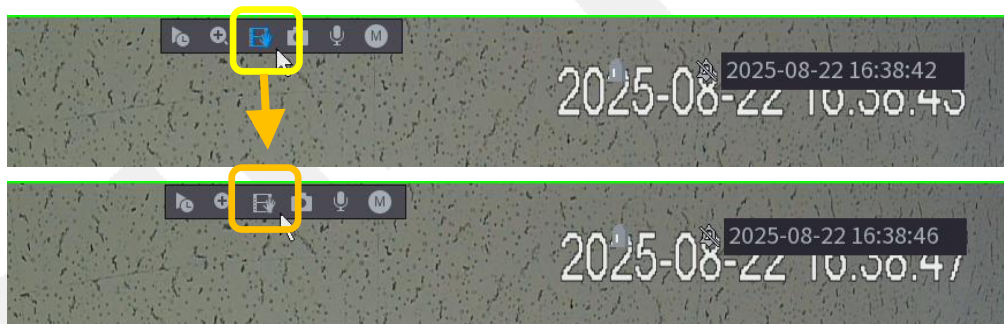
- 1) バックアップ用の USB メモリーをレコーダーの USB 端子に挿入して下さい。
USB メモリーを認識すると、下記画面が表示されるので、右クリックで「USB デバイス」の画面を消去して下さい。



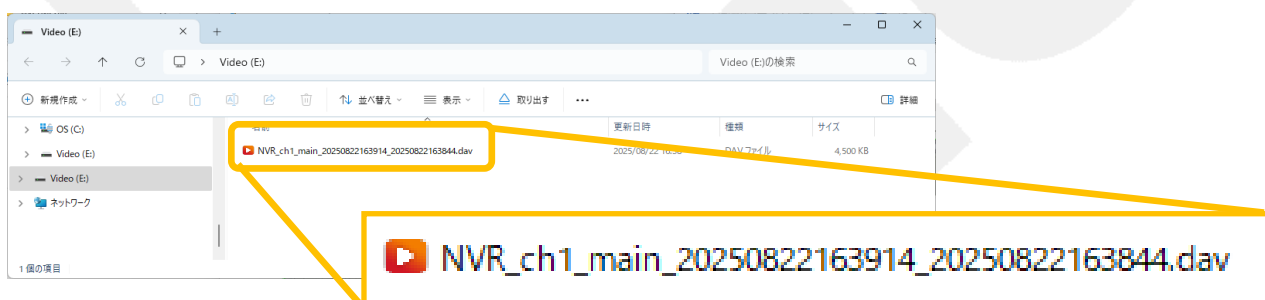
- 2)  をクリックすると  (青色) になり録画が開始します。



- 3)  をクリックし  (灰色) になれば録画終了です。



- 4) ファイル名が、“NVR” + チャンネル番号 + ストリーム + 終了時刻 + 開始時刻 .dav の録画データが保存されます。



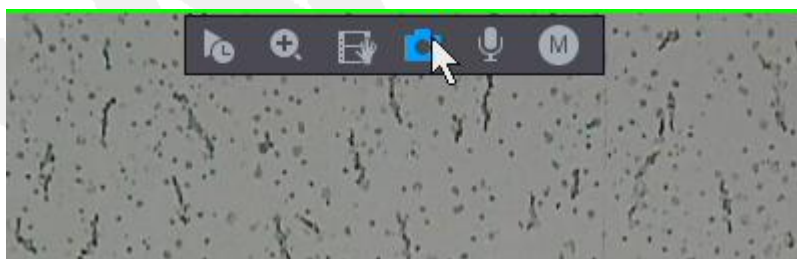
9.2.4. 手動スナップ

ライブ映像のスナップショットを1秒間隔で指定した枚数をUSB機器に保存します。

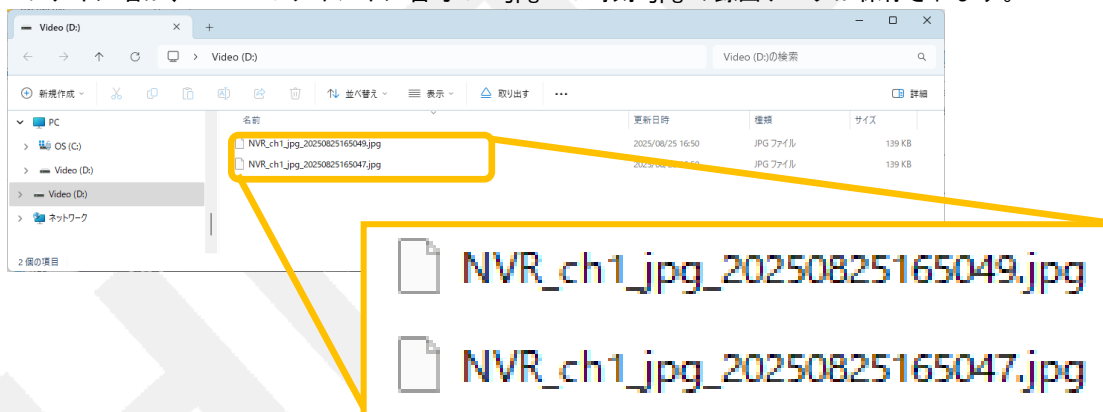
- 1) バックアップ用のUSBメモリーをレコーダーのUSB端子に挿入して下さい。
USBメモリーを認識すると、下記画面が表示されるので、右クリックで「USBデバイス」の画面を消去して下さい。



- 2)  をクリックします。

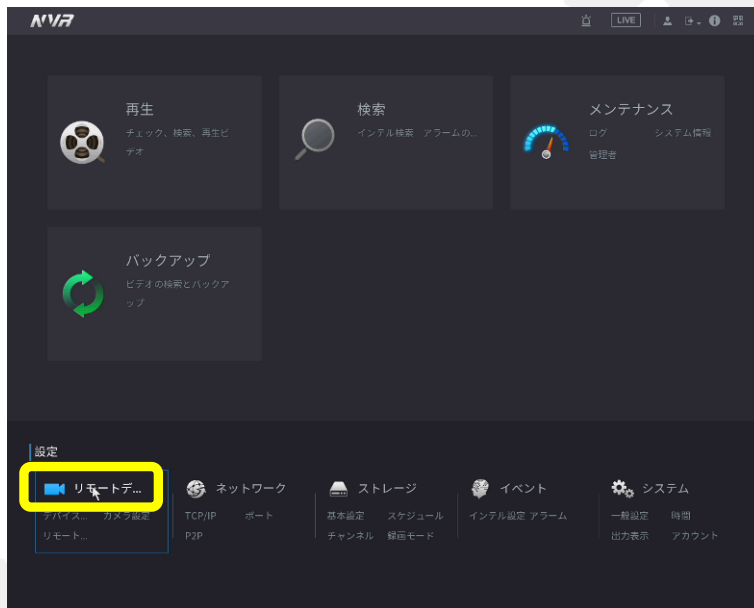


- 3) ファイル名が、“NVR” +チャンネル番号+”jpg” +時刻. jpg の録画データが保存されます。



9.2.5. スナップショットの枚数設定

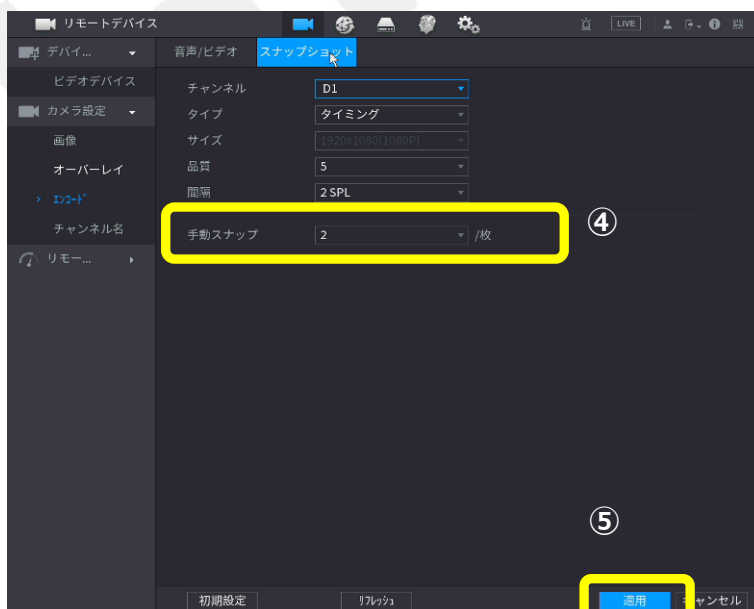
- 1) メインメニューの『リモートデバイス』をクリックし、システムの設定画面を表示させます。



- 2) 『カメラ設定』(①)をクリックし、表示したリストの『エンコード』(②)をクリックするとエンコード画面が表示されるので、上部の『スナップショット』(③)をクリックして下さい。



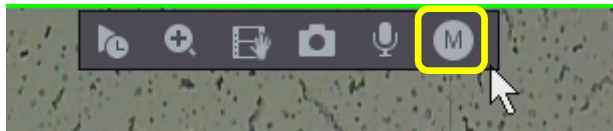
- 3) 手動スナップ (④) で保存枚数を設定し、『OK』(⑤)をクリックすれば、保存枚数を変更できます。



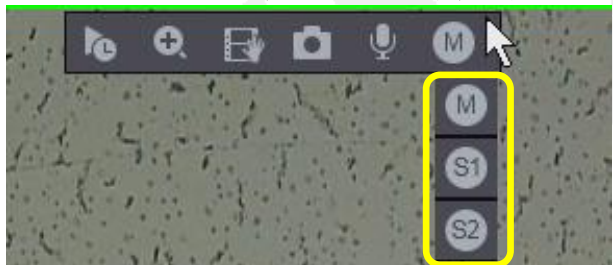
9.2.6. ストリームの切替

ライブ映像をメインストリームまたはサブストリームに切り替えます。

- 1)  をクリックします。



- 2) ストリームのリストが表示されるので、表示するストリームを選択します。



<ストリーム>

「M」：メインストリーム

「S1」：サブストリーム 1

「S2」：サブストリーム 2

※サブストリーム 2 は、カメラに機能が無い場合は何も出力されません。

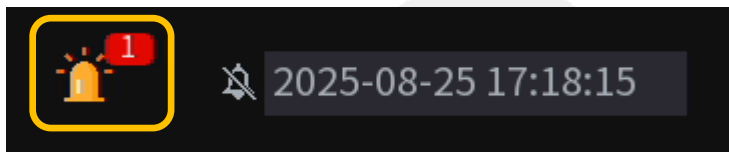
- 3) 選択したストリーム映像に切り替わります。



※分割表示を切り替えた場合、デフォルトのメインストリームの映像に戻ります。

9.2.7. アラーム情報

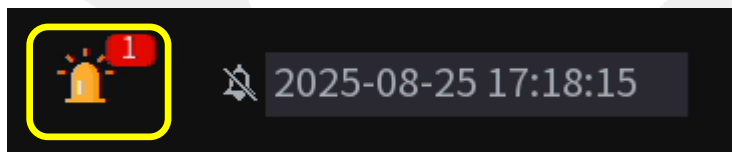
以下のイベントが発生した場合に、アイコンがからに変わり、右上に未確認のイベント数が表示されます。また、アイコンをクリックすると、イベントログの一覧を表示することができます。



イベント	ログ内容
異常なイベント	ディスクなし / HDD エラー / ディスク容量低下 / ディスクヘルスの例外 / ネット切断 / IP 重複 / MAC アドレス重複 / 不正ログイン / セキュリティ異常
アラームイベント	動体検知 / ビデオロス / マスキング / シーン変化中 / ローカルアラーム / ネットワークアラーム / IP カメラ外部アラーム / IP カメラオフライン
AI イベント	AI 境界検知 / AI 動体検知

9.2.7.1. ログ一覧表示

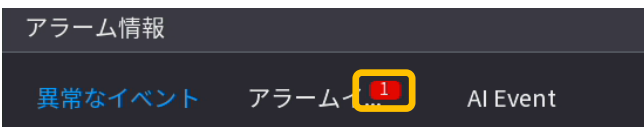
- 1) をクリックして下さい。



- 2) ログの一覧が表示されます。



※ログがあるイベントは、イベントの右に未確認のログ数が表示されます。一覧を表示すれば、確認済みになりログ数表示は消えます。



9.2.7.2. ログ表示の切り替え

左上のタブをクリックすると、一覧が切り替わります。



9.2.7.3. ログの表示設定

- 1) 設定するイベント (①) をクリックし、各イベントの下にある『設定』(②) をクリックして下さい。



- 2) 選択したイベントの一覧が表示されるので、ログを表示するイベントにチェックを入れ、表示しないイベントのチェックを外します。



- 3) 左クリックで画面を消去すれば設定終了です。

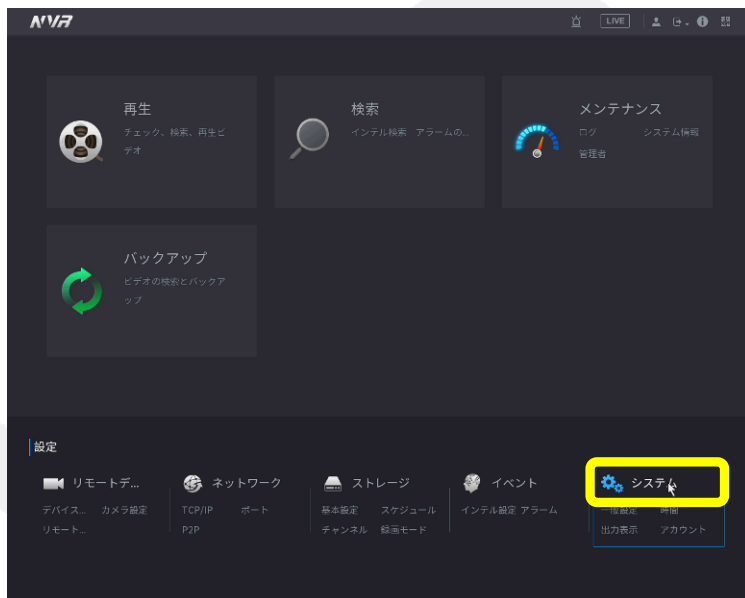
※異常なイベント / アラームイベント / AI イベントで設定が異なりますので、イベント毎に設定して下さい。
※全て、チェックを外すとログは表示されません。

9.2.8. ツアー

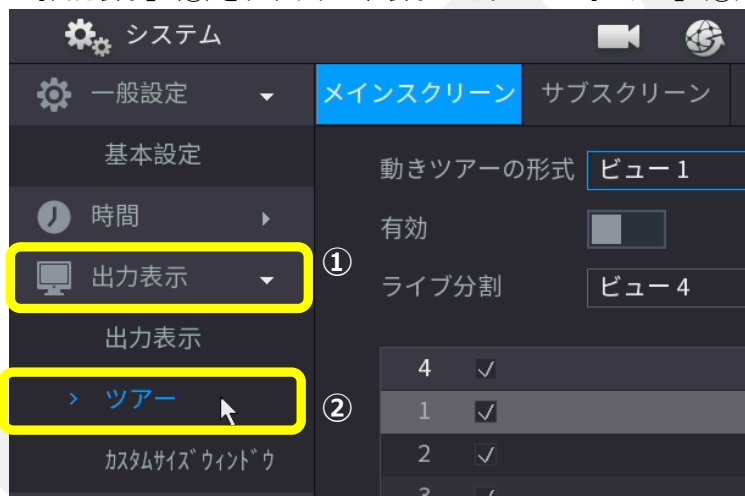
ツアー表示の開始/停止を行います。ツアーの詳細は「NVR 用 操作手順書⑥（ディスプレイ項目設定）」を参照して下さい。

9.2.8.1. ツアーの有効

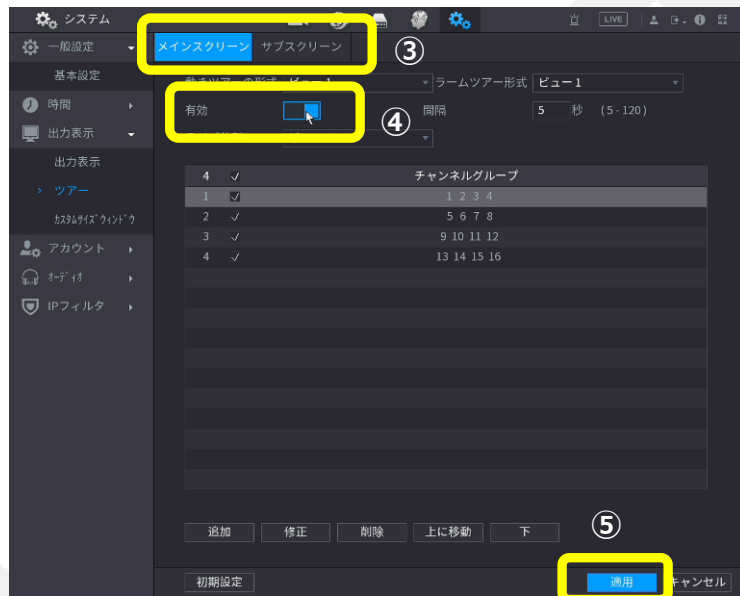
- 1) メインメニューの『システム』をクリックし、システムの設定画面を表示させます。



- 2) 『出力表示』(①)をクリックし、表示したリストの『ツアー』(②)をクリックして下さい。

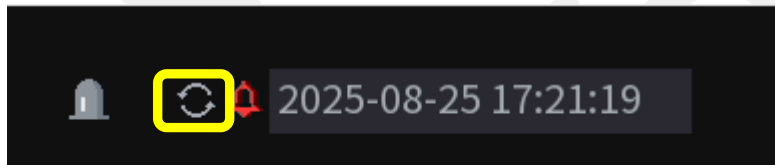


- 3) ツアーを行う出力 (③) をクリックし、ツアーの『有効』 (④) を有効 (右ヘスライド: 青色に変更)  にして、『適用』 (⑤) をクリックすれば、ツアー表示が開始します。

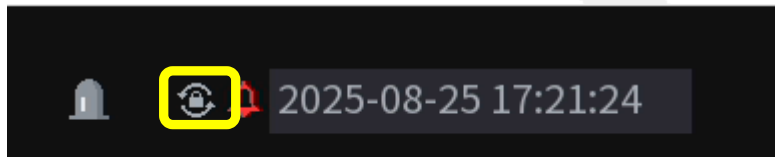


9.2.8.2. ツアー表示の停止

- 1) ツアーが開始すると、時計の左に  が表示されるので、クリックして下さい。



- 2)  に変われば、ツアーが停止します。



※もう一度クリックすれば、ツアーは再開します。

9.2.9. アラーム連動

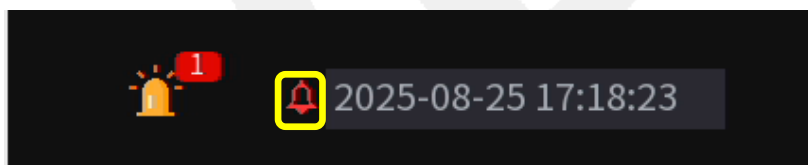
イベント発生時にレコーダーが連動して動作する機能を停止させます。
停止できる機能は、「ブザー」/「メッセージ表示」/「アラーム出力ポート」/「電子メールを送信」/「カメラ音声」/
「リモート警告灯」の6機能です。

※イベント自体の制御や停止ではありません。

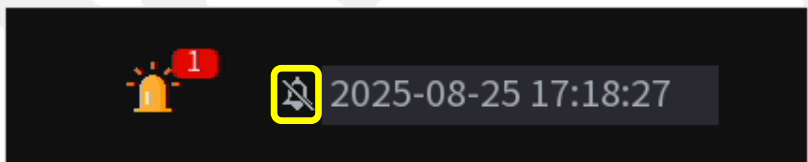
※エラー時などイベント発生時に、ブザーや警告灯など一括で停止させる場合や、警戒中に一時的にレコーダーから動作を停止させる場合に使用します。

9.2.9.1. アラーム連動の停止

- 1) をクリックして下さい。



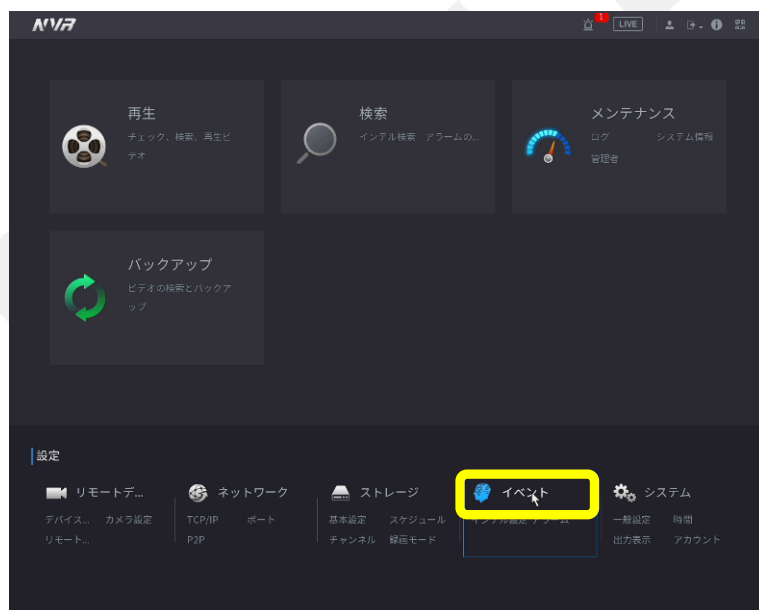
- 2) に変われば、イベントが発生しても連動している機能は停止します。



※もう一度クリックすれば、連動は開始します。

9.2.9.2. 動作を停止させる連動機能の設定

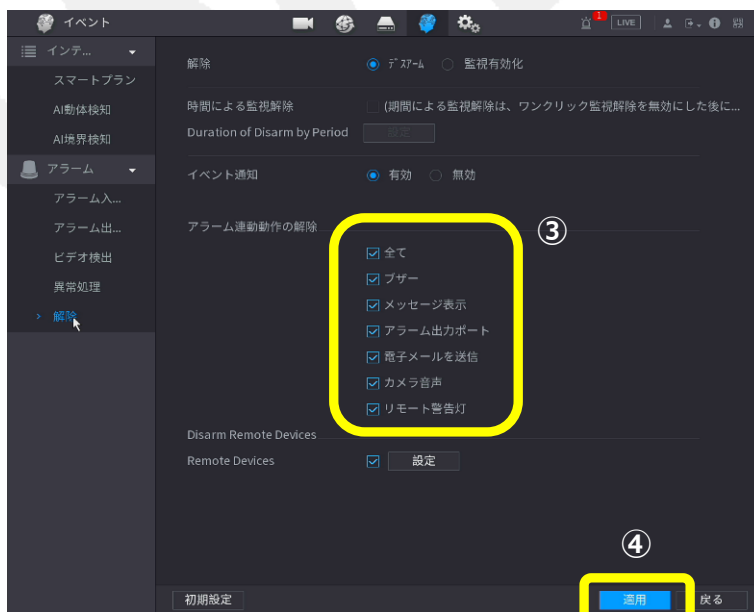
- 1) メインメニューの『イベント』をクリックし、イベントの設定画面を表示させます。



2) 『アラーム』(①)をクリックし、表示したリストの『解除』(②)をクリックして下さい。



3) 連動する機能 (③) にチェックを入れ、『適用』(④) をクリックすれば、チェックした項目の機能が停止します。



以上